



段 取 力

これから自分の進路を決定するためには、段取力が必要です。段取力とは、簡単に言うと先を読む力です。行動する前に、先読みをすることが、段取りの最も大事な点といえます。先読みとは、どのように計画や学習などを進めれば、早くて効率的かということを先回りして、頭を使って考えることです。次の 3 点を普段から心掛けると段取り力は確実に磨かれます。

まず、第 1 に着地点つまりゴールを明確にすることです。今現在進路の希望が明確になっている人もいれば、そうでない人もいます。また、急に変更する人もいるでしょう。まずは、はっきりゴールを定めることから段取りがはじまります。

第 2 にゴールにたどり着くまでのシナリオを描くことです。例えば、山に登るという目的であっても、標高 500m クラスの山と、標高 3,000m 級の山とでは、難易度も、山頂へのアプローチも変わります。目指すべきゴールが異なれば、そのゴールにたどり着くためのシナリオはまったく異なるということです。山の天候と同じように、突発的な事態が起こるなど刻一刻と状況は変わります。そのため、順調なシナリオ、逆境のシナリオ、最悪のケースも含めて、ありとあらゆるパターンを想定しなければなりません。シナリオを描くことで、ゴールまでの手順がわかり、やるべきことがリストアップされます。

第 3 に、シナリオ実現に向けての、事前準備です。段取力を磨くには、料理を習うといいといわれます。料理が上達するほど、いくつもの料理を同時進行でつくりことができるようになるからです。同時進行的に複数の作業を行う決め手となるのが、事前準備です。3 年生の進学希望者は自分で願書を入手し、いつまでに願書を郵送しなければ

ならないか、いつまでに推薦願を担任に提出しなければならないかなどを自己管理しつつ、受験勉強をしていかなければなりません。また、就職希望者は、いつどのような資格を取得しているのかを自分で把握した上で、志望動機を明確にして、より具体的な職種を絞っていかなければなりません。

求人票 285 件 (7/14 現在)

7 月 1 日から求人票が公開されていますが、7 月 14 日現在で旭川公共職業安定所に来ている高卒用の求人件数が 285 件となっています。ここ最近では 200 件以上きているような状況です。今年度先生方で企業訪問を行った企業では、採用予定人数が充足するか、非常に危機感を持っているところが多かったように感じられます。

企 業 見 学

求人件数が多いからといってもしっかり仕事内容などを確認してから受験をしてほしいと考えます。ミスマッチを避けるためにも、夏休みの前半に求人票を確認して、受験先を絞り、学校を通して企業見学に参加することを強く薦めます。何事も事前準備が大切です。

進路行事予定

8 月 21 日 進路ガイダンス (1 年)

22 日 面接事前指導 (3 年)

24 日 就職推薦会議

26 日 高 2 看護模試

道看護模試

9 月 14 日 進学推薦会議

16 日 ベネッセ・駿台マーク模試